

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-253115

(43)公開日 平成9年(1997)9月30日

(51)Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 6 1 F	5/453		A 6 1 F	5/453
	5/455			5/455

審査請求 未請求 請求項の数1 書面 (全 3 頁)

(21)出願番号 特願平8-110043

(22)出願日 平成8年(1996)3月26日

(71)出願人 595044155

金田 敏彦

東京都東村山市青葉町2丁目29番地49号

(72)発明者 金田 敏彦

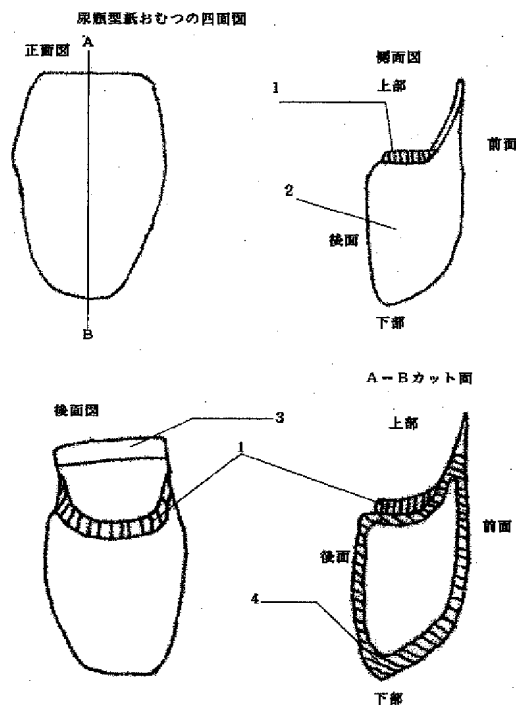
東京都東村山市青葉町2丁目29番地49号

(54)【発明の名称】 尿瓶型紙おむつ

(57)【要約】

【目的】 現在の紙おむつの形と機能を変更して使い分けを行い、おむつ交換に要する労力と患者に危険となる体位変換を極力減らし、汗疹、湿疹、かぶれ、褥瘡などの患部に尿による汚染区域を極力なくし清潔に保つ。

【構成】 紙おむつを袋状にして、性器を包み込むようにして、正面の上部には、褶をもうけて、粘着テープを取り付け寝返りなどによる位置のずれが起きないようにしたもの。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 現在有る紙おむつを袋上にして性器を包み込んでしまう様な形にしたもので、おむつ交換の労力と尿による汚染範囲を極力少なくし、MRSAなど、医院内感染をディスポの尿瓶にすることにより感染経路を減らすもの。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【産業上の利用分野】この尿瓶型紙おむつは、性器ごと包み込んでしまう為に、性器の大小、位置の上下左右にこだわらずに、尿による汚染範囲を最小限にとどめることが出来る。また、大きさを適度にすれば、ドライブ先での簡易型のポータブルトイレとしての使用も可能である。

【0002】

【従来の技術】今までの紙おむつは、パンツタイプのもので、平らなもの、いわゆるおむつと称されている形とである。この為、子供や五体が満足の人には良いが、体に障害がある大人特に、下肢に硬直の有る人のおむつ交換は、体が大きく体重があるために、子供用をそのまま大きくしたのでは、交換の度ごとに介助に当たる人が相当な労力を強いられている。また、骨粗鬆症などがあるとおむつ交換の際の大きな体位変換の際に骨折を起こす危険性がある。さらに、性器の大小やおむつの中での位置によって尿が、上手く吸い取りパットに吸着されずに腹部やお尻の割れ目などに、しみ出て汗疹、湿疹、カブレなどが起こる。また、褥瘡などある方にとって、日に何度も尿による汚染を繰り返していたのでは、なかなか治りもよくならない。さらには、医院内感染などが問題となっているが、誰が使用したかわからない尿瓶を、ろくな消毒もなしにそのまま使用していたのでは、感染を起こすなどの問題がある。などの欠点があった。

【0003】**【本発明が解決しようとする課題】**

- (イ) おむつ交換による労力を極力少なくする。
- (ロ) 吸い取りパットに吸着されない尿で皮膚を、汚染する範囲を少なくする。
- (ハ) おむつ交換による体位の変換を極力少なくする。
- (ニ) できるだけ小型化して嵩張らないようにする。

【0004】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するため

に、まず紙おむつの形を袋状として、性器を包み込む大きさとする。その内側に吸い取りパットを張り合わせる。袋の口の部分には、ギャザーを付け逆流を防ぎ、正面となる上部には、おむつの位置を固定するための襷と粘着テープを付けるなどして、寝返りや体位変換による位置のずれをなくす。

【0005】

【作用】上記解決策により日に何度となく訪れる尿によるおむつ交換が、性器に被してあるおむつの交換だけでよくなる為、おむつ交換による労力が、半分で済むようになる。おむつは、袋状となっているため隙間から漏れる心配がない。固定用の襷と粘着テープにより寝返りによる位置ずれもない。また、使い捨てなので、尿瓶による感染が防げる。

【0006】

【発明の効果】この尿瓶形紙おむつは、性器を包み込んでいるため尿による汚染が限局している。この為、汗疹、湿疹、かぶれ、褥瘡などの外傷が有る人や、肌の弱い人などは、尿による汚染が一般の紙おむつに比べて狭いので養護がよい。また、おむつ交換もただ上から被せてあるだけなので、今までのおむつ交換のように大きな体位変換を必要としないので、介護に当たる人の労力が半減できる。骨粗鬆症などあまり大きな体位変換を頻繁に繰り返すことがよくない人にとっては、日に何度となくある尿によるおむつ交換が、あてがうだけで良くなるため、危険な体位変換の回数が減らせる。また、医院内感染などが問題となっているが、今までの尿瓶のように、誰が使用したかわからずまた、どんな雑菌が付着しているかわからないものを、そのまま使用したのでは、問題があるが、この尿瓶形紙おむつを使用すれば、使い捨てなのでそういった問題を削除できる。また、大きさと形を変えることによりドライブ先での簡易ポータブルトイレとしても使用が可能である。

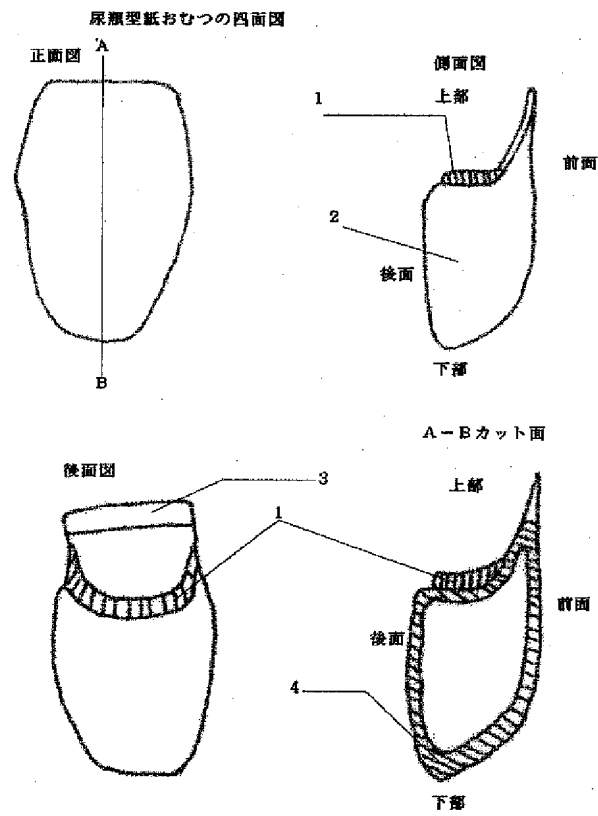
【図面の簡単な説明】

【図1】尿瓶形紙おむつの四面図である。

【符号の説明】

1. ギャザー部
2. 袋状のおむつカバー部（通気性のあるもの）
3. 襷の部分（粘着テープをもうける部分）
4. 吸い取りパット

【図1】



MENU

SEARCH

INDEX

DETAIL

JAPANESE

LEGAL
STATUS

1 / 1

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 09-253115

(43)Date of publication of application : 30.09.1997

(51)Int.Cl.

A61F 5/453

A61F 5/455

(21)Application number : 08-110043

(71)Applicant : KANEDA TOSHIHIKO

(22)Date of filing : 26.03.1996

(72)Inventor : KANEDA TOSHIHIKO

(54) URINE BOTTLE TYPE PAPER DIAPER

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To reduce the labor of diaper replacement as much as possible, minimize the range of contaminating the skin with the urine not absorbed by an absorptive pad, and reduce the size so as not to be bulky.

SOLUTION: A paper diaper is made into a bag having a size of enclosing genital organs. An absorptive pad 4 is stuck to the inside, a gather part 1 is formed on the part of the mouth of the bag to prevent the counterflow, and a gore part 3 for fixing the diaper position and an adhesive tape are attached on the upper part forming the front, whereby the positional dislocation by turning over in bed or body position change is eliminated. Thus, the diaper displacement which is performed many times in a day can be reduced to only the replacement of the diaper covering the genital organs, and this diaper has no fear of leakage from a clearance because of its bag shape. The positional dislocation by turning over in bed can be prevented by the fixing gore part 3 and the adhesive tap, and the infection by an urine bottle can be prevented because it is disposable.

